



令和7年度
5月号
清瀬市立清瀬第七小学校
(毎月19日は食育の日)

「目に膏葉、山ほととぎす、初がつお」。江戸時代に活躍した俳人、山口素堂の有名な句です。目で、耳で、そして舌で感じる初夏の喜びが表現されていますね。
さわやかな新緑の季節、五感を使ってこの季節ならではの美しさややすらしさを感じ、ますます豊かで健やかな学校生活を送りましょう。

給食で味わう行事食～「端午の節句」～

5月5日は「端午の節句」です。こいのぼりを立てたり、兜や鎧を飾ったりします。また、ちまきや柏餅を食べてお祝いします。これらの飾り物や食べ物には、こどもたちの健康や未来への願いが込められています。給食では行事食のほか、旬の食材をたくさん使った献立を味わいます。楽しみにしててください。



かしわもち
あん入りのもちを柏の葉で包んだものです。柏は新しい葉が出るまで古い葉が落ちないことから、「跡継ぎが絶えない」として縁起物とされました。



ちまき
もち米を笹の葉などで包み、蒸して作ります。中国の故事にならった風習として、日本でも端午の節句によく食べられます。



たけのこ
天を貫くように真っ直ぐに伸び、成長も早いことから、子どもたちがすくすく元気に育つようにと願いを込めて食べられます。



かつお
名前を「勝つ男」と読み替え、困難なことに打ち勝ちながら、たくましい人に育ってほしいという願いを込めて食べられます。



こいのぼり
鯉が激しい流れの滝を上りきると龍になるという伝説から、難関を突破し、立派な人になってほしいと願います。



かぶと・よろい
命を守る大事な武器です。災いや病気などから守ってくれるように、また武士のように勇ましく育ってほしいと願います。



しょうぶ湯
葉の形が剣に似ることから、また武芸に精進することを表す「尚武」に通じることから、菖蒲をお風呂に入れて、無病息災を願います。

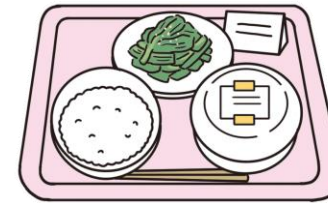
給食での食物アレルギー対応

～みんなが安全に楽しく食べるために～

食物アレルギーのある人もない人も、みんながアレルギーについて正しく知ることによって、安全に楽しく食べられます。給食では文部科学省の『食物アレルギー対応指針』等に基づき、安全性を最優先にしています。ご理解とご協力をお願いいたします。

食物アレルギーについて知ってほしいこと

●食物アレルギー除去食ができる日があります



除去食がきちんと本人に届くようにみんなで気を付けましょう。

●食物アレルギーは好き嫌いとはちがいます

好き嫌いやわがままとは違います。アレルギーのある人の気持ちになって考えてみましょう。



●アレルギーのある人はできないことがあります

ふれたり吸い込んだりするだけで症状がでることがあります。牛乳のリサイクルや配膳台のそうじなど、学校生活の中でできないことがあります。



●食物アレルギーにはさまざまな症状があります

アレルギーの症状はさまざまです。アレルギーのある人がつらそうにしていたり、自分に何か変わったことが起きた場合は、すぐに先生に知らせましょう。



●除去食は、先生と一緒に確認をしてから受け取りましょう

食物アレルギーのある人で、給食で除去食ができる日は、先生と確認してから受け取りましょう。



●遠足などでは、こどもだけの食べ物の交換はしないでください!

アレルギーの原因になるものを口にしてしまうかもしれません。交換はしません。

